



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

11月号

令和5年10月31日  
横浜市立さちが丘小学校  
校長 高浜 正太郎  
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 赤勝て!! 白勝て!! 運動会

校長 高浜 正太郎

10月21日(土)天候に恵まれ、秋のさわやかな気候の中「さちフェス2023」を予定通りに実施することができました。「いざ出陣 ～輝け あきらめない心～」をスローガンとして、子どもたちは運動会を成功させるために一人ひとりがめあてをもち、力を合わせて練習に取り組みました。当日は、まさにスローガンの通り、勝っても負けても子どもたち一人ひとりが輝き、全力で取り組む姿をたくさん見るすることができました。

低・中・高学年ごとの演技では、長年、演技種目を固定して継承するよさが随所に表れていました。「3年生になったらソーランを踊りたい」「5・6年生の飛翔はすごいな」という憧れの声が聞かれることから、将来の自分と重ね合わせたよいロールモデルとなっています。また、エイサーに合わせて、中・高学年の児童が座席で一緒に踊る様子には、低学年の子どもたちを応援しようという気持ちが伝わり、とても感動しました。温かく微笑ましい会場の雰囲気の中、各学年のよさや特徴を出しながら演技ができていました。

競技種目である玉入れや綱引き、台風の目、騎馬戦では、上級性と下級生が練習の時間から助け合いながら協力して取り組むことにより、当日は一丸となって競技に取り組むことができました。

また、低学年・高学年に分かれての紅白リレーでは、上手にバトンパスをつなげながら力いっぱい走る様子が印象的であり、順位が入れ替わるたびに大きな歓声が起こっていました。

そのほかにも、応援団や各児童委員会の係ごとの活動では、高学年児童がさちフェスを盛り上げるために、力を合わせて準備・運営を進めていくことができました。責任をもってしっかりと取り組む姿を見てみると、「自分たちの力で、さちフェスを成功させよう。」という気持ちが伝わってくるとともに、大変頼もしく感じられました。

閉会式の結果発表では、白組が優勝しました。しかし、赤組白組どちらの児童も、達成感に満ち溢れた表情で閉会式に臨んでいました。きっと、この日のために練習してきたことを十分に発揮できた喜びから、勝敗よりも大きな満足感を得たのではないかと感じました。最後まであきらめずに努力することや、学年や学級の枠を越えて協力し合うことなど、運動会を通して子どもたちがそれぞれに身につけた力を、今後の学習活動に生かしてくれることを願っています。

お忙しい中ご来場くださり、ご声援をいただいた保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様、運動会当日の運営や終了後の片付けに至るまでご尽力いただいたPTA役員及び委員、ボランティアの皆様、どうもありがとうございました。心より感謝申し上げます。

